

タブレットを用いた授業展開 ～タブレット利用の教育的効果～

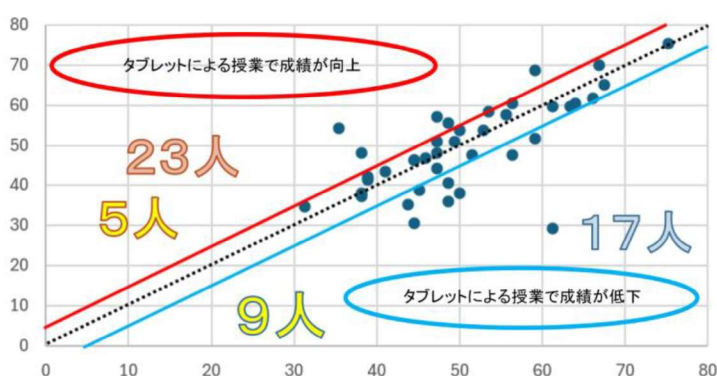
1 はじめに

タブレットを利用して授業を展開していく教員は各学校でも増えているように思う。一方で生徒がタブレットを用いて授業に参加している姿はあまり見てとれない。そこで、従来、筆記用具・ノートを使用していた生徒が、タブレットを利用して授業を受けた場合の教育的効果についてどうなるか考察してみた。

2 研究計画と考察

- (1) 4月から9月 教員はタブレットを使用、生徒はタブレットを不使用で授業展開
- (2) 9月から11月 教員はタブレットと黒板を使用、生徒はタブレットを不使用で授業展開
- (3) 11月から2月 教員はタブレットを使用、生徒もタブレットを使用で授業展開
- (4) 2月 生徒のアンケート実施
- (5) 定期考査の得点の分析・撮影した授業の分析

(1)と(3)の定期考査の成績比較



タブレットによる授業で偏差値が 向上→23人 5以上向上→5人
低下→17人 5以上低下→9人

(2)と(3)の授業比較

授業展開と生徒活動	(2)タブレットを使用しなかった場合		(3)タブレットを使用した場合	
	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目
基本事項の説明を受ける	46%	44%	45%	33%
発展的内容の説明を受ける	13%	13%	16%	26%
演習問題に取り組む	20%	16%	36%	32%
ペアワークに取り組む	9%	12%	3%	9%
前時の答え合わせをする	12%	14%	0%	0%

3 終わりに

(1)と(3)における比較から、タブレットを利用したことによって偏差値が5以上低下した生徒が多く、タブレット利用による教育的効果はあまりなかった。アンケートにおいても、多くの生徒がノートを使用していた授業にやりやすさを感じていた。

(2)と(3)の比較では、予想していたよりも客観的なデータに大きな変化はなかった。答え合わせにかかっていた時間が無くなった分、発展的な内容を扱う時間やペアワークなどの時間が大きく増加していれば効果的だったと言えるが、そこまでは十分に増加しなかった。また、タブレットを使った場合、タブレットの充電が切れる、画面がフリーズしてしまったり動かないなどプリント学習のときには起こらなかったことが発生し、そのためにその授業が生産的に受けられなかった生徒もいた。